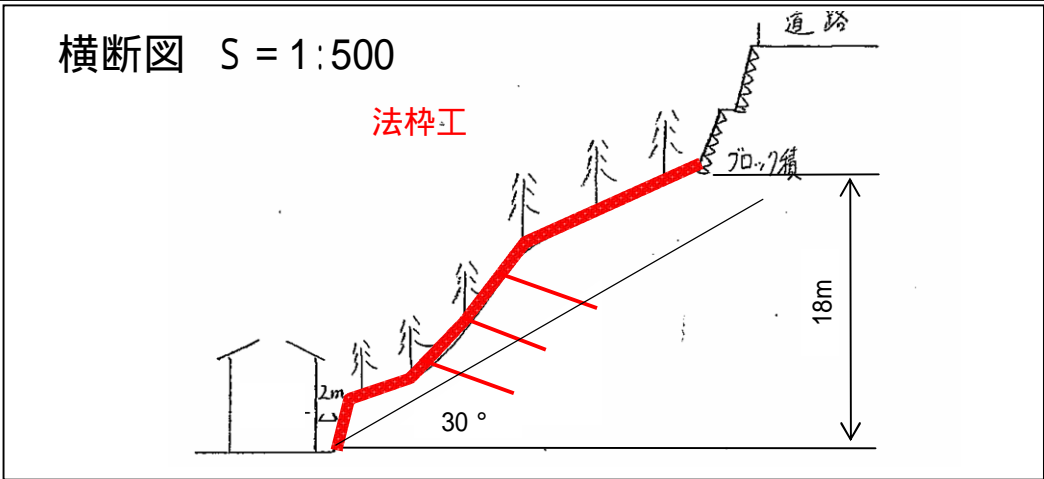
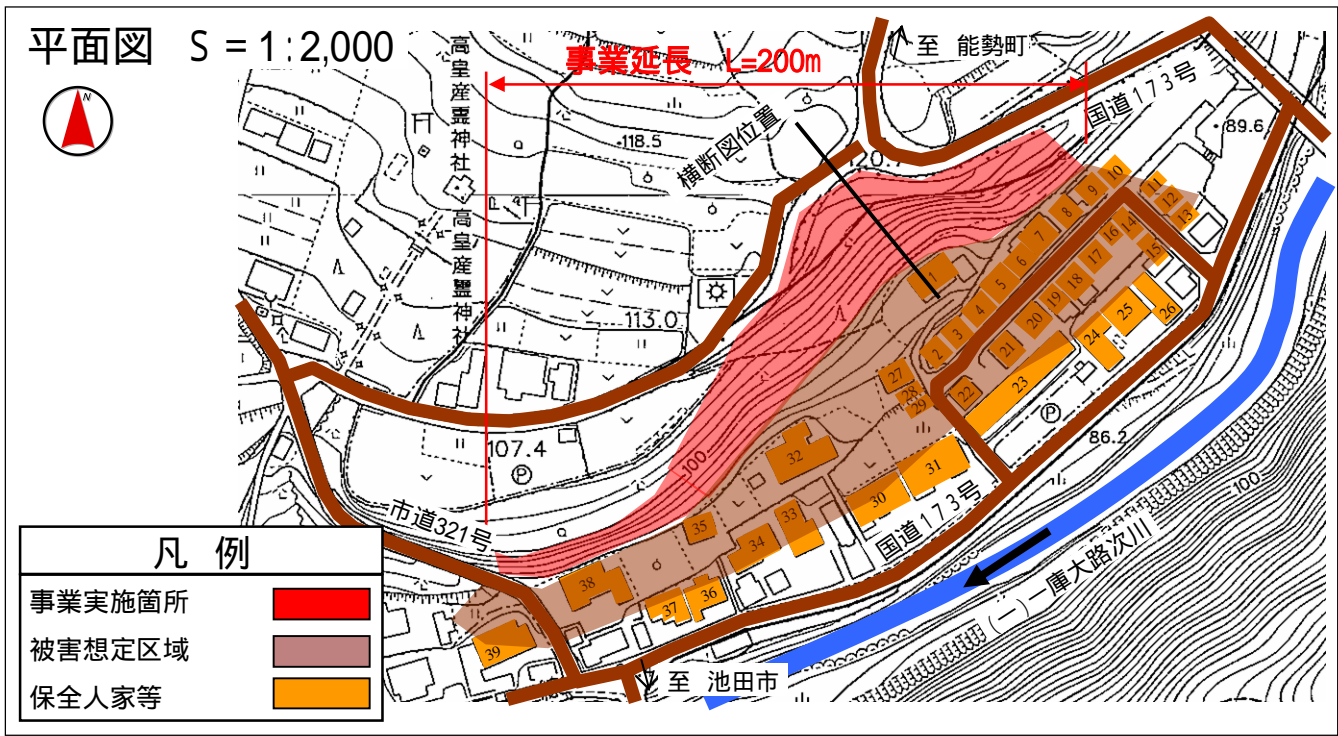


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 尾崎 幸忠 （ 鶴崎 尚夫 ）	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.9億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>ひとくら</small> 一庫地区	川西市 <small>ひとくら</small> 一庫	内用地補償費	- 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
川西市一庫				H22	H25
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や市道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 法枠工 L = 200m （負担割合 国 : 40.0% 県 : 40.0% 地元 : 20.0%）		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 一庫ダムの下流500m、能勢電鉄日生中央駅の南東約1.2kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 斜面は、H21年4月に小規模崩壊があり、今後も崩壊発生の危険性が非常に高い。また、斜面には竹が密生しており、崩積土も厚く堆積している。 			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 延長200m、幅30mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 人家39戸、市道(約120m) 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> 上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 平成21年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。 			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> 事業の同意を得ているため借地契約に問題はない。 工事予定箇所付近には国道や市道があり、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 法枠工の施工にあたっては、既存木を最大限残し、かつ法枠内に緑化を行うことで、周辺斜面との調和を図る。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 保全人家戸数が多く、平成20年には小規模崩壊が起きていることから、早期着手に対する地元要望が強い。 <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>			



箇所名	一庫地区
-----	------